

サンマイモの出店に列をつくる安井小の子どもたち



白熱したサークル「一步」と安井小の児童たちのサッカー交流試合

震災キックアップ元気出そう

サッカー交流試合

栗東の小学生「サークル一步」西宮の安井小訪問

栗東町内の小学生でつく
るボランティアサークル
が避難生活。自助復興を前
面押し出し、被災者数人
「一步」のメンバーら二十
人が五日、阪神大震災の被
災地・西宮市の安井小を訪
問、サッカーの交流試合な
どを通じ、現地の児童ら
を励ました。

「一步」は、栗東町の治
田小児童を中心にメンバー
約三十人。街頭清掃やバス
ケットボールなどを行い、
地域交流を図っている。
今回メンバーが訪ねた安
井小では、いまも約三百人
が避難生活。自助復興を前
面押し出し、被災者数人
でつくる事務局を中心に、
食事の配給や要介護者の世
話などのほか、もちつき大
会やコンサートなどを実施
してきた。

しかし、日がたつにつれ
被災者の精神面に影響が出
始め「比較的元気だった子
どもたちも、最近外に出よ
うとしなくなった」（長岡
の神戸製鋼からラグビー部
交流会では、「一步」の
十三人と安井小の子どもた
ちが白熱したサッカー試合
を繰り広げた。また、地元

の大西一平・前主将ら
五人も飛び入り、ラグビー
ボールを使ったゲームを行
い、避難所のグラウンドは
栗東の児童たちは「今回
の交流で少しでもみんなの
励みになれば」と言い、安
井小の子どもたちも「サッ
カーをやるのは地震以降初
めて。本当に楽しかった」
と満足そうだった。